

出来事（2016年11月）

1. 新規の食品添加物の指定

11月の新規指定はありません。

現在、ステアリン酸マグネシウムの使用基準の改正（カプセル剤及び錠剤の形状のいわゆる「健康食品」にも、使用可能とする。）の手続きが進められています。

一方、アルミニウム含有食品添加物4品目についての食品安全委員会の審議は、厚生労働省からの資料提出待ちとなっています。厚労省から斉藤和子衆議院議員事務所への8月25日付けの回答では、「目途は立っていない。」とのことです。

- ・アルミノケイ酸ナトリウム（固結防止剤）
- ・ケイ酸アルミニウムカルシウム（固結防止剤）
- ・酸性リン酸アルミニウムナトリウム（膨張剤） ・カルミン（着色剤）

これらの4品については、12月1日（木）、参議院のTPP特別委員会で質疑応答がなされました。

2. 食品添加物・加工助剤の規制緩和

9月30日、10月31日、11月30日、食品添加物・加工助剤の規制緩和に向けて、健康影響評価に関する指針（案）が食品安全委員会添加物専門調査会で審議され、継続審議とされました。

https://www.fsc.go.jp/senmon/tenkabutu/annai/te_annai_155.html

3. 遺伝子組換え食品添加物

○安全性審査が終了し公表された遺伝子組換え添加物（24品目） 11月の追加・変更なし。

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinanzenu/0000071167.pdf>

○安全性審査が終了した遺伝子組換え添加物リスト（73品目） 11月の追加・変更なし。

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinanzenu/0000071168.pdf>

○安全性審査継続中の遺伝子組換え添加物リスト（4品目）

エキソマルトテトラオヒドロラーゼ（MDT06-228株、ダニスコ）

ホスホリパーゼ（NZYM-LP株、ノボ） リパーゼ（JPAo001株、ノボ）

ホスホリパーゼ（ホスホリパーゼC、PRF株、DSM）

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinanzenu/0000071169.pdf>

*ホスホリパーゼCは、リン酸エステル基の直前でリン脂質を切断する酵素群の総称です。

4. 機能性表示食品の届出

消費者庁のホームページ「機能性表示食品に関する情報」に掲載されている品目を消費者庁の区分に従って、集計すると以下ようになります。

2015年度

サプリメント	その他加工食品	生鮮食品	合計	撤回
145品目	162品目	3品目	310品目	6品目

<http://www.caa.go.jp/foods/index23.html>

2016年度（10月14日現在）

サプリメント	その他加工食品	生鮮食品	合計	撤回
84品目	141品目	2品目	227品目	0品目

<https://www.fld.caa.go.jp/caaks/cssc01/>

届け出られた資料の公表が販売日直前となっており、いわゆる「販売前60日」ルールが全く機能していません。また、届出書類の変更も多いようです。制度の欠陥だと思われます。

5. 機能性表示食品

11月25日、消費者庁の機能性表示に関する検討会（第11回）において、エキス、糖質及び糖類を関与成分として認める旨の報告書をまとめたとのことです。

http://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/other/pdf/kinousei_kentoukai_161125_0002.pdf

6. 特定保健用食品（トクホ）の関与成分調査

消費者庁は、11月1日の「ニュースリリース」で、現在販売されているトクホ366品目について分析し、「分析中の7品目を除き、関与成分量は、許可等申請書の記載通り適切に含有されていた。」との調査結果を公表しました。

http://www.caa.go.jp/foods/pdf/foods_index_4_161101_0004.pdf

7. 乳児用粉ミルクの安全性

11月21日、参議院のTPP特別委員会で、乳児用粉ミルクの安全性に関する質疑応答がなされました。

<http://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>

8. 「厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」の一部改正（案）についてのパブコメ

意見募集期間：11月2日～12月1日

公布予定日：平成29年3月頃

<https://search.e-gov.go.jp/servlet/PcmFileDownload?seqNo=0000150328>

9. 厚労省 大麻の管理の徹底を通知

都道府県知事により大麻栽培者免許を与えられた法人の代表者及び従業員が大麻を不正に所持し、大麻取締法違反で逮捕される事案が発生したことから、11月8日、厚労省は、都道府県に大麻管理の徹底を求めました。<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000141740.html>

10. 食品の放射能問題

（原子力災害対策特別措置法第20条第2項の規定に基づく食品の出荷制限）

①福島県、青森県、岩手県、宮城県、山形県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県の特定の動植物の出荷が制限されています(11月14日現在)。<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001a3pj-att/2r9852000001a3rg.pdf>

②11月も、新たな出荷制限の設定はありません。

11. 1日1個の卵の喫食で脳卒中リスクの低減

英国・国民保健サービス（NHS）は、11月2日、「1日1個の卵の喫食で脳卒中リスクの低減につながるかも知れない。」と報じました。1日1個の卵の喫食で脳卒中リスクが12%低下したとのことでした。

<http://www.nhs.uk/news/2016/11November/Pages/Eating-one-egg-a-day-may-lower-risk-of-stroke.aspx>

“Meta-analysis of Egg Consumption and Risk of Coronary Heart Disease and Stroke”
(Journal of the American College of Nutrition, Volume 35, 2016 - Issue 8) を引用している。

<http://www.tandfonline.com/doi/full/10.1080/07315724.2016.1152928>

尚、国内でもコレステロール値が高い方が長生きとの調査研究結果があります。

11. WHO 食品安全に関する10の事実

事実1(食品を通じて、200種以上の病気が拡大)～事実10(消費者への十分な情報提供)。

http://www.who.int/features/factfiles/food_safety/en/

12. FDA 食品表示規制の法令順守日

FDAは、2017年～2018年に発表される食品表示規制の法令順守日を2020年1月1日とすると公表しました。<http://www.fda.gov/Food/NewsEvents/ConstituentUpdates/ucm530299.htm>

13. 輸入食品の違反事例

- ベトナムから株式会社大豊商事が輸入した「加熱後摂取冷凍食品（凍結直前未加熱）：えび類の命令検査で、エンロフロキサシン 0.01ppm 検出に成分規格不適合とされ、廃棄、積戻し等が指示されました。また、丸紅株式会社が輸入した「冷凍養殖むきえび類」の命令検査で、エンロフロキサシン 0.05ppm 検出による成分規格不適合とされ、廃棄、積戻し等が指示されました。

*エンロフロキサシン：ニューキノロン系殺菌剤

- 株式会社カーギルジャパンがベネズエラから輸入した「生鮮カカオ豆」のモニタリング検査で、2,4-D 0.03ppm 及び 0.04ppm 検出により、廃棄、積戻し等が指示されました。

(作成：2016年12月2日)